

別れの日、祝日

2017 3

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
			1 奈良地区センター 大人も聴きたい! おはなしのくに	2	3	4
5 こどもの国 チーズ・バター作り 教室	6	7	8	9	10 こどもの国 ノルディック ウォーキング 歩こう会	11
12 奈良地区センター 第4回ダンス パーティー	13	14	15	16	17	18 こどもの国 ヒツジの毛刈り ショー
19 こどもの国 チーズ・バター作り 教室/ヒツジの毛刈り ショー	20 こどもの国 ヒツジの毛刈り ショー	21	22	23	24	25 こどもの国ツバキまつり 市が尾〜寺家 緑とアートの 村あるきツアー
26 こどもの国 チーズ・バター作り教室/ ツバキまつり/ヒツジの毛刈りショー	27	28	29	30 こどもの国 さくらまつり	31 こどもの国 さくらまつり	

2017 4

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
						1 こどもの国 さくらまつり
2 こどもの国 さくらまつり	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20 青葉台フィリアホール ニコライ・スナイダー ヴァイオリン リサイタル	21	22
23 こどもの国 フラフープ 教室	24	25	26	27	28	29
30	5/1 次号国マガ 配付日					

3月と4月の予定

桜だけなんて言わせない

春のこどもの国といえば、なんとっても桜ですね。駐車場から園内まで、1000本以上の桜が訪れる人を迎えてくれます。シーズンに合わせて、3月30日から4月2日まで、今年も「さくらまつり」を実施するよう、家族や友人と桜を見ながらいろいろな食べもの屋台が楽しめます。

実はこどもの国は桜だけではなく、600種、6000本ものツバキやサザンカが咲き誇る「椿の森」も有名。この森は1972年に安達式挿花創始者・安達潮花氏の椿コレクションを資生堂が創立100周年記念事業で買い取り、こどもの国に寄贈して誕生したんだぞ。

また、正式な導入日は未定ですが、この春から横浜市営地下鉄に新型車輦が登場するそう。僕たちの税金の賜物、早く乗ってみたいところです。日に日に温かくなって気分も楽しく、こどもの国に春がやってきます。

国民の悩み

相談員 サリ志村

悩

春から娘も大学生。また働きに出ようとハローワークに行っていますが、しばらく仕事から離れていたため、30、40歳代の年下の面接官を前に緊張してしまいます。(ゲロまぶ子・55歳・主婦)

答

私は雇う側として数回面接をしたことがありますが、相談者さんと同年代で年上の方もいました。そこでは「年齢を気にせず話せるかどうか」に注目していました。年下が年上の人にお話しをするときは少し気後れしてしまうもの。そこを快く引き受けてもらったり、足りないところを人生の経験から教えてもらえれば嬉しいですね。相談者さんの場合だと恐縮しがちなので、少し厚かましいぐらいが良いかもしれません。

オオキが認定 今回の逸品

フリーペーパー 『Gareru』

日差しが強い夏のある日、やはり本格的なお店ではホットコーヒーをブラックで飲むべきなのかと青年がメニュー表を眺めながら迷っている。店長から「暑いんだからアイスでも好きな飲みなよ」と言われた。こだわりの豆を揃えているが、ホットでもアイスでも、砂糖やミルクを入れても、その人が好きなように飲むのが一番いいんだと言ってもらえた。この出来事が後に彼がGareruを生み出すきっかけとなった。



行く国マガのある店

コーヒーを好きになる
昨年11月、この町に新しいフリーペーパー「Gareru」が誕生しました。「コーヒーをもう少し好きになる」をコンセプトに、国マガ創設メンバーの一人である小説の挿絵担当のおひとつさんが、奈良5丁目のカフェGRIVEの金子店長の協力の下に発行しています。

毎号、コーヒーをより楽しむための特集から始まり、音楽とコーヒーにまつわるコラム、女子高校生力オルのカフェとの出会い・交流を描いたマンガ「放課後のアロマ」など、コーヒーを味わいながら、じっくりと読みたい一冊になっています。

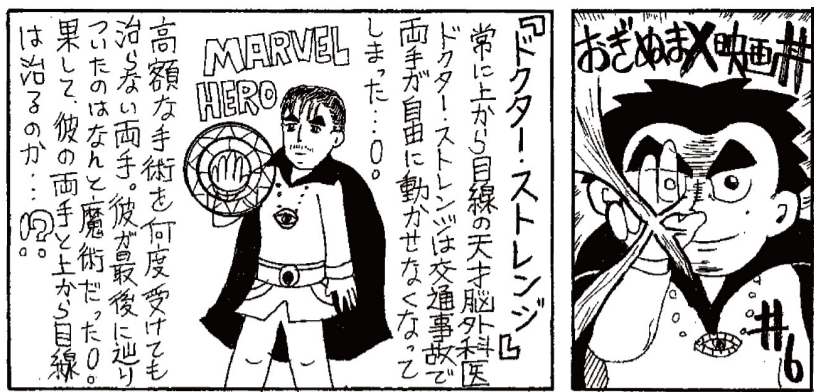
現在、GareruはカフェGRIVEとGareruホームページで読むことができます。あなたの憩いの時間においしいコ

三和 こどもの国店 モス バーガー

『GRIVE』

コーヒー GRIVE
営業時間 9:00 ~ 18:00 (L.O.)
不定休
Gareru 奇数月発行
<https://gareru.tumblr.com/>

ヒーとGareruをどうぞ。
いつ頃だったか、GRIVEでゆつたりくつろいでいた時のこと。今しがた帰っていったお客さんのテーブルを片付けていた店長が心なごむものを見せてくれました。店長が嬉しそうに手に持つストローの空き袋には「いつもおいしいコーヒーをありがとう」の文字。フリーペーパーを作る情熱も、ささやかで温かな優しい気持ちも、人から人へ、この町中に伝わっていくといいですね。



コラム

引き込み線育ち

サリ志村

おじさんの学校はサウナのなか

私が24歳になったとき、「もう若者としてはベテランなんだな」と思い、25歳になったときに「これからはおじさんのルーキーなのだ、25歳をおじさん0歳としよう」と決めた。これは、高校時代のアルバイト先でいた正社員を反面教師にしたからだ。そいつは当時30歳前半ぐらいだったのだが、やたらと明るい髪色にし、不自然に若者言葉を使っていた。それを見て、10代の私は「年甲斐」について考え始めたのである。

それから現在、31歳。おじさん6歳になる。一般に6歳の子といえば、小学校に通うぐらいだ。私も順調におじさんになっていて、昔だったらサウナなんて暑いだけで、オッサンたちの行くところと思っていたが、いまではハマって、月に最低1回はスーパー銭湯に行く。

このサウナという場所は、おじさんルーキーにとって良い学校となる。ここでおじさん同士が話す、健康の裏ワザ(人間ドックの日の数日前から断酒すると、ちょっと良い結果が出る)や、奥さんとのウマ

い付き合い方(まだ寝ている奥さんに朝ごはんを作ってもらうために起きてきて欲しいときは飼猫をお腹の上にもっていきと機嫌よく起きてもらえる)といった話題は、この先、本格的なおじさんになったときに使える知恵である。

ただ、ここにもやっぱり反面教師がいる。おじさんたちの裸を眺めていると、血行よく全体に贅肉がつきムチツとしている人がいるが、なかには、足は細いのにお腹がポコッと出て不健康そうな人がいる。まるでマトリョーシカ人形にカエルの足が生えているような体形だ。あるとき、マトリョーシカおじさん2人が、互いの腹を指して「メタボだね。痩せなきゃね」と話し合っていた。その後、私が風呂から出てもう一度その2人を見たとき、彼らは軽食コーナーで並んで豪快にジョッキを傾けていた。それまで私も湯上がりの一杯を、なんて思っていたが、マトリョーシカおじさんを見て、「節制節制...」とお茶だけを飲むことにするのである。



小説

夜の桜

安原マヒロ

猛威を奮う花粉によって、自主軟禁状態にあった私は、双眼鏡をネット通販で購入した。私の部屋の窓からは桜並木がみえるのだが、外に出れば涙と鼻水で正常を失う私は、昼間は窓辺からしか花々を見ることしかできず、わいわいと楽しそうに花見をする人々が羨ましいので、このような手段に出た。春の陽気に誘われた、短いスカートの可愛い女の子の一人でもいるのではないかと、丸く切り取られた世界を動かす。

桜の下に集まった人々の表情まで存外に良く見えて、これはいい買い物をしたと思ったが、しかし、平日昼間に若い女の姿など皆無であり、ビニールシートの上でタッパーに入れた手料理を品評し合う老人たちなどを観察した。花見といえは酒なので、部屋のベッドでうつ伏せに双眼鏡を覗きながら、時々たまき上がりビールを煽る。これがなかなかの酔いを持ってきて、やがて微睡みが襲う。



イラスト・おひとつ

気がつくとき夜であった。花粉の猛威も落ち着いた夜こそ、私の活動時間である。昼間に飲み尽くした缶ビールを新たに仕入れにコンビニに向かうことにする。暗い夜道をずるずると進み、街路灯に照らされた夜桜を見あげる。夜桜は確かに良いものだが、昼の陽光に照らされた明るいピンクとの対比があつてこそ、夜の桜だけを見ると、ぼんやりと青白く、幽霊が並んでいるかのような。私は昼間、双眼鏡で覗いていたあたりをうろついてみる。昼間の喧嘩とは違ってかわり、あたりは静まりかえっている。

私は振り返り、自分の家を見た。電気を点けたまま出てきたようで、灯りが漏れている。部屋のカーテンが揺れた。黒い人影が現れた。ざらっと、双眼鏡が反射する。それはまぎれもなく、私だった。私が、私のことを覗いていた。青白い桜と一緒に、私は、私に見られたまま立ちすくむ。まだ冷たい風が、桜の花びらを散らしていた。

国マガ配布店

【こどもの国地区】
 ●GRIVE(コーヒー) ●こどもの国歯科(歯科) ●シュタットシンケンかくれが工房(ハム/ソーセージ) ●スリーエフ・こどもの国駅前店(コンビニ) ●なごみ(そば) ●なつうめ(カレー) ●奈良地区センター ●炭火焼肉はち(焼肉) ●Bacchus(イタリアン&バー) ●MONT(パン)

【奈良北地区】
 ●かつ元(とんかつ) ●Coonie(パン) ●昭和書房(本/文具) ●街の家族(コミュニティハウス)

【青葉台地区】
 ●KOGA(美容室) ●COPPET(パン) ●Soul Cocktail's AOBADAI(バー) ●246亭(ラーメン)

※お知らせ※
 今号より配員数不足により一部店舗での配布を休止させていただきます。

次号は5月1日配布予定!!
 こどもの国系情報誌「国マガ」Vol.12
 発行日 2017年2月28日
 発行人 加藤シュンスケ
 デザイン ヨシムキ
 連絡先 kunimaga920@gmail.com
 ※Facebookでバックナンバー配信中→
<https://www.facebook.com/kunimaga>

サリ志村 業界誌編集
 先日電車で、疲労のために、ため息をついたとき、口をすぼめて息を吐いたため、「ピー」と音が出てしまいました。少し注目を浴びて恥ずかしい思いをしました。

加藤シュンスケ イラストレーター
 アイルランドに住んでいる日本人ってどこか変わった人がおおいな思っていて、先日その話を現地の友人にしたら、お前も十分変わっていると言われショックでした。

オオキ 長男
 ふと、思う。人生とは自分にぴったりのマクラを見つける旅なのかもしれない。……なんて、ただ最近マクラが合わなくて肩凝ったり困ってるだけなんですけどね。

安原マヒロ ファッション誌編集
 仕事柄、モデル、カメラマン、スタイリストとおしゃれな職業の人と話しますが、こどもの国を知っている人は必ずマラソンが趣味。マラソンの聖地として推せばいいのに。

おぎぬまX ギャグマンガ家
 先日、うっかり5円玉を飲み込んでしまい会社であだ名が「貯金箱」になってしまいました。とほほ

私は大の酒好きなのだが、この国の飲み方の違いに少し困っている。アイリッシュの友人達と飲みに行っても、彼らはまずつまみを食べる習慣がない。そしてとにかく最初から最後までずーっとビール。しかも「ラウンド」という注文文化があつて、代わりばんこで一人が全員分のビールを買ってくるので逃げられない。お酒チャンポンしないので吐いたのは初めてですわ。

イラスト・柏木翔子

国マガ 6

7杯目...

加藤シュンスケ
 アイルランド滞在記

イラスト・おひとつ